

週刊住宅

2018年(平成30年)5月14日号
NO. 2812 (毎週月曜日発行)

CFネット流 新・大家実践塾

部屋を購入する時や借りる時、その決定権を持つのは女性だ。ファミリー向けの住宅を決めるのは奥さんで、学生の一人暮らしの賃貸住宅を決めるのは母親、成人男性の一人暮らしを決めるのも彼女が主導権を握っている。家庭を守る女性にとって、家は家事を遂行する職場であり、またプライベートの大半を過ごす場所である。

16

ワンランク上の空室対策

だからこそ、女性が快適に生き生きと過ごせる住まいに焦点を当てること、私たちが住まいを提供する不動産業者、プランを作成する建設業者にとって最も重要だと感じる。このため、建設業や不動産賃貸業に関わる男性は『女性の心に刺さるポイント』を知っていると、もっと簡単に女性が気に入る部屋づくりができる。

女性が選ぶ不動産の特徴はどのようなものか。女性は物件を選ぶ時、どのような部屋を好むのか。大規模なターミナル駅にある物件が男性に好まれるのに対し、女性はあまり好まない傾向がある。若い女性が1

だからこそ、女性が快適に帰宅する時、繁華街で酔っ払いに絡まれたり、風も大切である。比較的長い時間を過ごすキッチンを中心に、浴室や洗濯機などの家事スペースは移動しやすい位置に置くこと。

女性モノの衣類をコインランドリーで洗濯したり、屋外に干すことはためらわれる。このため、室内洗濯機置き場は室内で洗濯したいと思うニーズにマッチする。室内の洗濯物干しの種類は、リビング向きにキッチンを置くことにより、類は多い。壊れにくく利用しやすいものを選ぶと良い。セントラリスはオートロック機能を付け、インターホンもテレビモニター付

性のライフスタイルは世代ごとに多様に変化する。部屋の選び方によって生活スタイルやストレスの感じ方も違ってくるはず。生涯の大半を家で過ごす女性にとって、住まい資的な目線から重要だと思っ。不動産をじっくり選ぶこと、快適な住環境を顧客に提供すること

女性の心に刺さるポイント探れ

嗜好と特性把握+安全性で満室へ

誠子

CFネット東京本社アセットマネジメント事業部不動産コンサルタント 新井